

飯田市歴史研究所第5期中期計画 概要

平成29年度からスタートした第2次飯田市教育振興基本計画前期計画を上位計画とする飯田市歴史研究所第4期中期計画が令和2年度で終了します。

歴史研究所の設置目的に示された基本方針を堅持し、これまでの取り組みを踏まえ、飯田市歴史研究所第5期中期計画を令和3年度から令和6年度までの4年間を期間として策定しました。

◇ 第4期の成果と課題（2017-2020） ○成果 ▲課題

○空き家の取り壊しなどにより、所蔵者のもとでの保管が難しくなった貴重な史料の寄託や寄贈を積極的に引き受けました。また、市内20地区の旧役場文書の整理を終えることができました。出前講座は地域の諸団体及び地域外からの依頼を受け多数開催しました。

▲貴重な史料を市民へ公開し、さらには未来へ引き継ぐために、史料の調査や公開体制のさらなる効率性が求められます。

▲美術博物館や図書館及び公民館との連携、地域や研究団体との連携は、まだ不十分であり課題が残されています。

◇ 第5期中期計画の策定

1 基本方針

- ① 歴史や文化が生み出した様々な遺産を未来へと継承すべき「地域遺産」とし、これを調査・記録し、保存と公開を図ります。さらにその内容を研究し、成果を多様な形で市民に還元し、共有の財産とします。
- ② 戦争や災害・くらしの記憶や日々過去となりつつある現在を記録し続けることを目指します。
- ③ 調査・研究は飯田市を中心に、歴史的に密接な関係にある下伊那の全域をも対象とし、関連する諸地域も含めて広い視野で包括的に活動を進めます。
- ④ 地域史研究の拠点ばかりでなく、今後は地域遺産保全や地域連携の取組でも拠点となることを目指します。
- ⑤ 歴史研究所の取組の諸成果を地域市民や国内外に広く発信し、交流を図ります。

2 重点目標

① 地域アーカイヴズ事業の拠点化

地域アーカイヴズ（地域史料）は地域市民の自己学習や研究の基盤になるものです。共有財産であるこれら資料を守り継承させるため、調査や保存に取り組みます。美術博物館や図書館、公民館等と連携し、得られた史料や情報の保存、公開、活用に向けて体系的なシステムの構築と、文書保存や閲覧利用の充実を図ります。

② 地域遺産の再発見

飯田・下伊那には豊かな自然に生まれ多様な文化に彩られた地域遺産が現在も残存しています。地域遺産を地域の宝物として大切に守り、これに学び、活用する条件を整備し、地域への愛着、地域の魅力づくりに結び付けていきます。これらの活動には、市民の皆さんや、関係機関と連携して取り組みます。

③ 地域市民との連携強化

地域市民自らによる史料調査や地域の学習・研究活動との協力・協働を重視します。

④ 地域史研究・地域遺産保全での交流

地域史研究と地域遺産保全に取り組む機関や団体との交流・連携を積極的に進めます。

⑤ 恒久施設への移転

第5期中期計画期間中に関係機関との連携・協働に留意しながら歴史研究所の施設や環境についてあるべき方向性を検討します。

3 基本的事業活動

1 調査・研究

歴史研究所の諸事業の基盤であり、関係者とも連携し研究・調査事業に取り組みます。

(1) 史料調査

- ①個人の家や区、学校など地域に残る文献史料 ②オーラル史料 ③建造物・景観
④近現代の行政文書等 ⑤映像・音声

(2) 研究活動

基礎研究、基礎共同研究

地域史研究集会、ワークショップ、定例研究会、史料研究ノート、年報の編集・刊行

- 【目標】 ・地域史研究集会 年1回開催 ・ワークショップ 年2回程度
・定例研究会 研究員年1回以上報告 ・史料研究ノート 月1回程度
・研究成果(年報) 4冊(年1冊)

2 教育・普及活動

(1) 飯田アカデミア

様々な分野の第一線の研究者による最新の成果を提供

(2) 地域史講座

刊行した地域史叙述をテキストとする講座や単位地域を対象とした講座を継続し、地域遺産の巡見など活動の多様化を目指します。

(3) 出前講座

(4) ゼミナール、ワークショップ

(5) 古文書講座

(6) 公開史料調査・協働史料調査

- 【目標】 ・飯田アカデミア 年4回開催 ・地域史講座及び出前講座 随時
・ゼミナール 研究員1講座

3 研究者養成と地域連携

飯田・下伊那の地域史研究のさらなる活性化を目指し、研究者の養成や座光寺・川路地区などで行ってきた地元の団体と協働した史料調査活動を引き続き進めます。

(1) 市民研究員

(2) 地域史研究団体との協働

- 【目標】 ・市民研究員課程 年2人 ・市民研究員ゼミ 年3～4回

4 地域史編さん・出版事業

(1) 史料叢書 ①飯田・下伊那史料叢書 ②オーラル史料編

(2) 調査報告書 南信濃和田佐藤家文書など

地域史叙述 ①単位地域の全体史 ②史料研究ノート ③地帯史の検討

(3) テーマ叙述 ジュニア・市民ライブラリー

(4) 研究成果 (年報19-22号)

(5) その他 ①論文叢書の検討 ②刊行支援

- 【目標】 ・研究成果(年報) 4冊(年1冊)(再掲)
・史料叢書、調査報告書、地域史叙述、テーマ叙述、監修・刊行支援など

4 歴史研究所の体制整備

① 組織・運営

引き続き歴史研究所の組織体制について現状の点検と評価を行いながら、検討します。

② 連携

美術博物館や中央図書館とのさらなる連携や地域史研究団体や地域市民との連携に努めます。